



平成 30 年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【 川中小学校 】
氏名【 石田匠弥 】

街並み

- ・多くの超高層ビルが建つ新市街地
- ・ドイツ風の街並みの日市街地
- ・開発されていない地域

青島では以上の3つの地域を見ました。私有地がないということに驚きました。それぞれの地域はぼくが初めて見る風景で新市街は日本よりも入都会の印象を受けました。



訪問先ではどこでも歓迎されていてとても嬉しかったです。訪問先の門には警備の人がいました。入口には赤い文字の電光掲示板がありました。街の中の広告も赤い文字が多かったです。

『桃太郎』の中国語劇では、中国語が通じたのを感じて嬉しかったです。中国の小学生は優れて親切、元気でほめた印象でした。中国では同じアジア人同士なのに言葉が通じない不思議な体験をしました。

婦人児童活動センター

ぼくたちよりも年下の子たちの難しい楽器の演奏や踊りがとても上手で驚きました。「快板」の音の出し方を英語で教えてもらいました。日本の小学生より英語ができることに刺激を受けました。一緒に切り絵をしたときにぼくは失敗してしまいましたが、中国の子が上手に作っていたので器用さに驚きました。



太平路小学校

- ・日市街地にあり、校庭が芝生
- ・7時に登校、8時から授業
- ・現在はお弁当を持参のランチ
- ・男の子も女の子もカンフーの授業

カンフーの授業を受けました。初めてカンフーを知り、楽しかったです。太平路小学校の群読の発表で中国語の「おはあさん」という単語が聞き取れて嬉しかったです。

青島日本人学校

- 日本人学校の6年生の中国に対する意見
- 良いところ→困っていると声をかけてくれる
物価が安い
- 悪いところ→水道水が飲めない 生卵が食べられない

中国で買い物をするときの交渉術を教えてくださいました。中庭側の校舎の外へきの満開の桜の絵に日本らしさを見つけました。日本人学校の子供たちは中国語ができてびっくりと尊敬しました。

交通事情1

路線バスが多い → 始発から終点まで元
エアコン車 2元

タクシー → 10元 (3km) 追加1.5元/km
(すべてフォルクスワーゲン社)

車両用信号機はカウントダウン信号機

片側3車線の広い整備された道路

中央分り帯は柵のようなもの、花や植物

見た車種 → トヨタ、ニッサン、スズキ、バルブ、
三菱、ホンダ、ベンツ、ワーゲン、BMW、アウディ、
ルノー、キア、ヒュンダイ、ポルシェ、
ジープなど



青島は超大都会できれいな
街でした。車道は日本の大通りより
も広く、排気ガスや大気汚染も感
じられませんでした。ゴミ箱が数
百m間かくていくつも配置され
ていました。パンフレットよりさらに
多くの高層ビルや建設中のビル
がたくさんありました。青島では
アジア人以外の人をみかけて
いないことに気が付きました。
アジア人中心の大都会青島に
スケールの大きさを感しました。

交通事情2



日本よりクラクションがなっていた → 禁示の標式
自転車とバイクが少なかった → バイクは禁止されて
いた

青島のナンバープレート → **魯B 123AB**

商用車 → 黄
一般 → 青

世界各国の車が走っていました。中国車を見
つけることができずでしたが、ホテルの
テレビのCMで見ることができました。自動車
社会であることがわかりました。



スズキの車に
『長安鈴木』のプレート
が付けていた



買い物

ミニストップ、マクドナルド、ケンタッキークリーマ
滞在先の青島黄海飯店の近くに中国のコンビニ
「南北客」と「友客」があった
日本のおかし「ポッキー」「ハイチュウ」等が中国語
と英語表記で売っていた
値段は日本とほぼ同じ



アイスクリーム売場がなかった
コンビニでビニール袋は無料、イオンでは0.9元

中国のミネラルウォーター 2元、3元 (冷えたもの)

お〜いお茶 3.6元 コカ・コーラ 3元
(同可口可乐)

レトルト 1元 16円
2018年10月現在

食事

円卓での食事 → 3日目の夕食は20名の円卓
はしが長く大きい → 円卓で遠くのものを取りやすい
レストランでは、冷水、氷水は出ない → 白湯

円卓で大皿料理を取り分けて食べるのはとても
楽しかったです。ぎょうざ、焼売、北京ダック、魚、エ
ビ、貝の海の幸もとてもおいしかったです。

研修では中国の人々の優しさにふれ
中国の大きな活力を感じる事ができ
ました。中国が大好きになりました。

団長の中島先生、野村先生、国際課
の和木田さん、東武の加野さん、中島
ジャパンの14人の仲間に感謝します。謝謝

平成30年度 小学生中国派遣研修レポート



所属校【名池小学校】

氏名【磯興 元太】

1. この研修が参加しようとしたわけ

昨年の広報の卒業号で「今年一番楽しかったことは何ですか」という質問に「中国研修」とあった事を記憶していたところ、自分自身が6年になり、中国研修募集のプリントを配布され、これだ!と思い飛びついた。

2. 目標、目的

- ・行ったことがない青島と下関を比較する
- ・青島の人とのふれあい(異国の友達作り)
- ・日本の文化を伝える

3. 結果報告

○出発早々のトラブル

パスポートの写真が長髪だったか今はボウズ。別人と疑われる。→年少期の写真は撮直しが必要!

○上空からのなかめ → 赤い屋根が多い

○極地海洋世界 → このイルカのショーは海響館のショーに匹敵するほどの演技だった

○婦人児童活動センター → 伝統の音楽楽器を教えてくれた男の子と仲良くなった。

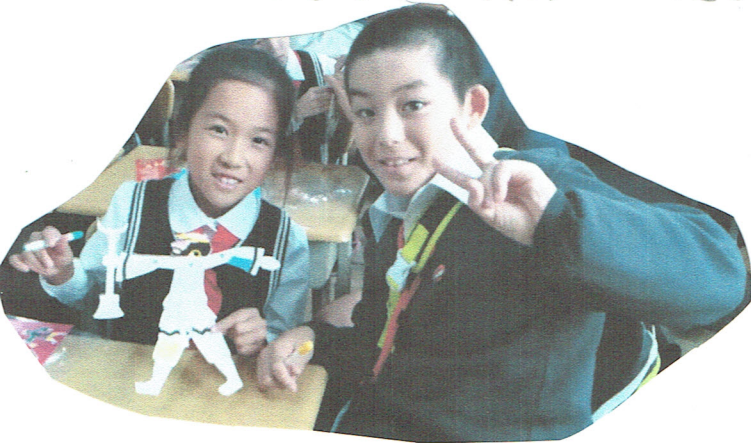
○イオニ

→ 日本のお菓子のパッケージが中国語に、左にシ! 味は、確任できません。水600mlがなんと30円



○領事館 → 二重扉の奥に入れてもらい、仕事内容について説明してもらい、大変さを理解。

○太平路小学校 → 婦人児童活動センターでうけた劇がいまいつの反応だった。初めて見た電子黒板に感重。
中国の伝統武術をなぜかほくだけ特別指導。柔道をひろうできなかったのが残念。



○教育局 → たじたじしい中国語をほめてもらい満足。

○日本人学校 → 屋内プールにおどろきあこがれた。

○実際に青島で生活するリアルな情報をGet!

○日系企業 フランソワ → エ場内見学とパン作り体験。

パンの味は日本と変わらぬ美味

○お土産(イオンにて) → 中国料理代表とする味の菓子を発見し、低価格でもあり、爆買い。

○再びトラフル → 入国もできなかつたが、出国もできず!

Are you boy? → Yes!!!!!!

○一番の思い出 → 最後の日にプレゼントされた夜景

4. まとめ

募集から研修最終日まで、研修会や劇を通して、今まで知り合うことのなかった市内在住の団員と仲良くなり、中国では言葉が通じない中国の小学生たちと仲良くなることかできた。このような経験かできたことに感謝し、これを元に、社会に興味をもていきたいです。



平成30年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【豊浦小学校】
氏名【植田 耀介】



飛行機に乗ったのは去年の夏、沖縄に行っていた。今回は国内とはちがいで、青島上空に行くと、空一面真っ白でなにも見えませんでした。やはり中国は大気汚染がすすんでいる危ない国なのかな、という不安をもちながらぼくは中国の地におりました。

今回の研修ではたくさんの体験をしたのですが、その中からとくに印象に残った事を書きます。

まずは現地を見て驚いた事です。バスでホテルに向かう途中、景色を見ると、青島は車線が五車線もあり、東京かと思うほどじつはたっていました。下関と比べると五倍くらい青島の方が発展していました。この写真は(左)栈橋といえます。ガイドさんによると、青島に行っ

たら絶対に行かないといけないそうです。この橋の長さは四百四十メートルあります。さすが中国、規模が大きいと思いましたが、さすがにすぐもつと大きい五十メートルもの橋が出来てきています。次に中国の人と実際に交流した時の事です。

中国の小学生との交流はとても楽しかったです。最初、「青島婦人児童生活センター」でぼくたちが市内の中国派遣メニ



バーと一生けん命練習した。劇をしました。(左上) 結果はきんちゃん
したけれど大成功でした。中国の児童の見せ物はとてもワオリテイ
が高くて、おじろきこました。主月島に伝わる伝統芸などをみせてく
れました。その後、中国の現地小学校に行きました。現地の
小学校ではロボットゲームの体験などが有りました。最初は、
はずかしかったけれど、かたことの英語を使って、中国の小学生と
話すことが出来ました。(左中)

今回の研修で、最初は中国は
自然破壊や日本の物のまねばかりする
いやな国だと思っていました。でも、
現地に行って、国全体は悪いイメージが強
いかもしねないけれど、出会った一人一人は優
しくて、暖かいと身をもって感じました。
だから、ぼくはそれぞれの国の考
え方は違っても、まずは個人であ
かり合っつ事が出来れば、おたがい
の事を思いやり平和になげいく
ことができると思いました。



平成 30 年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【吉田小学校】
氏名【河崎 真音】

1. 現地で見たこと、感じたこと体験したこと、印象に残ったこと。

- ・現地で見て一番印象に残っているのは「五月の風」です。真赤にぬられていてとてもきれいな形でした。この「五月の風」が作られた理由は学生運動の記念に作られた。重さ500t高さ30m直経は27mとても大きいです。
- ・体験したことはフランスワのパン作りです卵黄をぬまじりこまをのせたり、段はできないことが体験できてよかったです。

2. 中国の友達との交流記

- ・婦人児童活動センターでの交流で楽器を教えたとき言葉が伝わらないけれどジェスチャーなどでうまく伝えられて良かったです。またプレゼント交換でも恥ずかしがらずにできて良かったです。

3. まとめ

- ・ぼくは人との関わりがあまり好きではありませんでした。この研修のおかげで人との関わりがよくなりました。また中国の人はとても優しくて話しやすかったです。とても楽しい五日間でした。



平成 30 年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【下関市立豊浦小学校】

氏名【工藤 優希】

1. 現地で感じたこと。

(1) 古来からの音楽

この、研修で、私は、様々な中国、伝統音楽にふれました。例えるなら、歌声は人魚の様に、いろいろな音が重なりあっていて、とてもきれいでした。また、楽器は、初めてみるものがあり、楽しかったです。特に『たいこ』は、はくりよくあり、ねきにあふれていて、日本とにているなと思いました。また、おどっている方々の笑顔もすばらしいものだと思いました。見ているだけで、たくさんの元気をもらいました。音楽は人を元気にするのだと改めて思いました。最後に、古来からの文化をそんなうし、行っている方々は、本当にすごいなと思いました。

は、りょうし達の家を並んでいたそうです。それをこわし、マンションやビルをたてたそうです。それにもない、おとこしから、交通ルールがきびしく、かんしカメラなどが設置され、ば、金制度も、つくられました。

(3) ビールの町
青島には、ビール街という場所があり、「青島ビール」という有名なビールがあり、そのことから、青島は、別名、「ビールの町」と言われています。ビールは、のめませんが、ビールの街のイルミネーションは、とてもきれいでした。

(4) ヨットの町
青島は、ヨットの町、都とも呼ばれています。その由来は、かつて、青島では、オリンピックのヨットレースとかいり式、へいかい式が行われたことからです。

2. 青島でのゆうこう

(1) 伝統を共に...
現地小学校やふじんセンター、切り絵などの様々な伝統をいっしょに、行ったり、作ったりしました。言葉は通じませんが、表情や仕草、漢字を使って、意志表しをしました。実際に体験したことで、より、中国の伝統にふれられたと思いました。

(2) 日本と中国の学校
私は、中国の学校についても、学習しました。日本とのちがいは、1. 決まりが、中国・青島の学校にはある。例えば、毎月、家事を手つたう。毎週、本を一冊、読む。毎日、日記をつけるなどがあります。2. 3年生が



(2) 20年間の近代の中国・青島には、たくさんのこうそうビルがあり、おどろきました。しかし、多くのビルができたのは、近年で、以前

ら授業をせんとくし、運動をする。があります。青島の学生生活をしてより青島の人に関心をもちました。

3. 青島の特徴

私達がこまった黄海岸ホテルの近くに

旧しがい地という100年前のべ。そうが300件ほどある古い町があります。そこは全て政府のものとなっています。また、交通

はバスが、**始** - **終**

まで1元or 2元で自転車やバイクが少ないそうです。また、しんごうで待ち時間をおしえてくれたりします。自然は

「つばき」や「フラタス」など、緑が多いです。家の外観は「赤」で「青」に統一

されています。はゆう地が無く、全て国のものとなります。また、タクシーが多く、1万ほどありま

す。また、高そうビルをたててはいけな場所がありません。ここ数年、たくさんの高そうビルがたち並びました。その、えいきょうが、土地が、高くなったそうです。

4. 名前の由来

初めて、青島にできた島、「小(青島)から、きて

5. おまけの青島

1. 「さんばし」が、1892年、牛をはこぶためにつくられました。

2. アメリカ・イタリア・日本のりょうじがある。

3. 1910年に、ドイツ人がキリスト教会をつくり、もう一つ、カトリック教会をつくり、現在も、しんごうは、OKとされている。ただし、じゃ教は、だめだそうです。

4. 中国の方は、朝「カサギ」をみるこラッキー。

5. 中国は、中学卒業後、高校に進めない人がとても多い。

6. 中学卒業後、ほとん

どの人が、せんもん校にいてる。

7. 高速道路は、1km 0.8元。

8. フランソワが、50てんぽある

9. スーパーマーケットが、多い

10. 今、1996年、1オン(ジャスコ)が、はじめて、できる。

11. 中国no1の、かいてんトンネルがある

12. 昔は、12万人ほど、いた。

13. かいろんろくに、80年前の青島ビールのラベルがある。

14. 海軍の、はくぶっかんがある

15. 宿題は、学力により、変ある。

まとめ

この、研習で、青島の文化にふれ、交通をしました。この、一、験を生かして、より、他の国の人に関心をもち、しやをひろげて、生きていきたいと思います。また、友いっしょに、研習を行なった、友人とも、仲良くしていきたくて、思いました。この、研習は、一生の思い出になると思います。最後に、この研習のため、様々なことをしてくれた、人に感謝します。